

令和5年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワークシンポジウム

《 来賓挨拶 》



国土交通省 西村 拓 大臣官房技術参事官

ただいま御紹介いただきました。国土交通省大臣官房技術参事官の西村と申します。

本日は「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク」のシンポジウムのご盛会心よりお祝い申し上げます。また、本ネットワーク代表の久保田章市浜田市長をはじめ、役員会員の皆様におかれましては、日頃より港湾行政に格別のご理解とご支援を賜りまして、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク」には、平成7年11月の設立から長きにわたって港湾を核とした日本海沿岸地域の連携や交流の拡大に取り組んでいただいております。心から敬意と感謝を申し上げます。

本ネットワークにおかれましては、昨年10月に3年ぶりの対面での総会・講演会が開催され、その中でコスタクルーズ社を招いての講演や港湾管理者との個別意見交換会が開催されたと伺っております。

今年3月からは、国際クルーズが全面再開されましたので、積極的で先見性のある活動であったと感銘いたしております。日本各地でクルーズ誘致に対する熱い思いをひしひしと感じておりますが、本ネットワークも活用し、日本海側のクルーズがさらに盛り上がることを期待しております。

また、物流面におきましては、令和4年1月に日本海の港湾である敦賀港、舞鶴港、境港と国際コンテナ戦略港湾である阪神港におきまして、国際フィーダー航路が初めて開設され、それ以降も秋田港、新潟港、伏木富山港と阪神港との航路が増設されております。

RORO船においても、苫小牧港の秋田・新潟航路、敦賀航路に加え令和元年4月には日本海側の九州-本州間航路として13年ぶりとなる敦賀博多航路が就航しております。

その他、防災におきましては昨年度、新潟県佐渡市及び富山県魚津市におきまして、「命のみなとネットワーク」推進協議会が開催され、災害対応についての意見交換や海上ネットワークを活用した防災訓練などの取り組みを実施されております。

このように、日本海側での港湾を核としたネットワークを活用したさまざまな取り組みが進んでおり、大変心強く思っております。

国土交通省といたしましても、港湾を核とした日本海沿岸各地域の物流、防災、観光、文化などの交流の拡大におきまして、本ネットワーク会員の皆様との連携をさらに強化させていただき、引き続き港湾を通じて全国津々浦々がより元気になるよう、さまざまな施策に取り組んでまいります。

最後になりますが、このシンポジウムの開催に当たり開催自治体として御尽力いただきました、浜田市の久保田章市市長をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、御参加の皆様の御健勝と日本海にぎわい・交流海道ネットワーク益々の発展を祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。